

募集の観点から、実技検査1では、まとまった英文を読み、文章の流れを適切に理解した上で日本語や英語で自分の意見を表現する問い、グラフとそれに関する英文を読み、情報分析力、思考力、日本語及び英語の表現力を測る問いの2題を出題した。実技検査2では、音読により英語の発音やイントネーションを測り、英問英答で英語による発信力を測る問いを出題した。実技検査1は全受検生に対し同時実施、実技検査2は個別実施とし、受検生が落ち着いて十分に力を発揮できるように配慮した。なお、実技検査2は、入室から退室まですべて英語で指示をした。

### 実技検査1（筆記）

#### 問1

英語で書かれた文章の流れを正しく理解し、内容を把握する力及びその文章が提起する問いに対して自分の意見を明確に持ち、理論立てて適切な日本語で他者に伝える力を測る目的で出題した。英文の内容や話の流れを正しく理解することができるかどうか、問いに対する自分の意見を適切に表現できているかを評価の観点とした。

#### 問2

身近な問題に関する英文と示されたグラフを適切に読み取り、文章を日本語で簡潔に要約する力及びそれに対する自分の考えを英語で適切に表現できる力を測る目的で出題した。英文の内容とグラフにある情報とを適切に結び付け、日本語で簡潔に表現できているかどうか、本文中の問いに対する自分の意見が適切に英語で書けているかどうかを評価の観点とした。

### 実技検査2（口頭）

#### （音読）

ある程度まとまった長さの文章を、内容を理解しながら適切に音読できるかを評価する目的で出題した。個々の単語の発音及びアクセント、ポーズの入れ方、イントネーションの適切さを評価の観点とした。

#### （英問英答）

- 1) 質問の内容を的確に聞き取り、適切に応答する力を評価する目的で出題した。必要な情報を英文の中から読み取り、応答としてまとめ、発信できるかを評価の観点とした。
- 2) 身近な事柄について、その様子や自分が感じていることを英語で発信する力を評価する目的で出題した。その事柄の様子や自分の気持ちを自分の英語で説明できるか、積極的に英語で説明しようとする態度があるかを評価の観点とした。